

西大台ヶ原

2014年11月24日（月）晴れ

メンバー：高木 A・Y（記）

前日の15時に大台ヶ原に到着した。ビジターセンターに翌日のレクチャー受講の時間を聞きに行くと16時からやってくれるとのこと。

これなら明日は早い時間に入山できるので前日にレクチャーを受講する事にした。

* 西大台ヶ原は日本で最初の利用調地区であり入山人数の制限がある。（平日50人、土日祝100人で1グループ10人まで）

完全予約制で事前に申し込み用紙を郵送、入山料（1000円/人）を振込み、事前レクチャー（30分程度）受講必須・・・など色々制限があり面倒ではある。

レクチャーまで1時間あるのでAは初めての大台ヶ原なので東大台ヶ原の日出ヶ岳のピストンに行く事にした。東大台ヶ原は立ち入り制限は無くぐるっと周遊もでき、こちらが百名山でもあり木道のお気軽ハイキングコースで人気の山である。（数年前、記念すべき？私の初百名山でもある）



山頂には残念ながら立派すぎる展望台・・・



レクチャーを受講すると入山許可証がもらえる

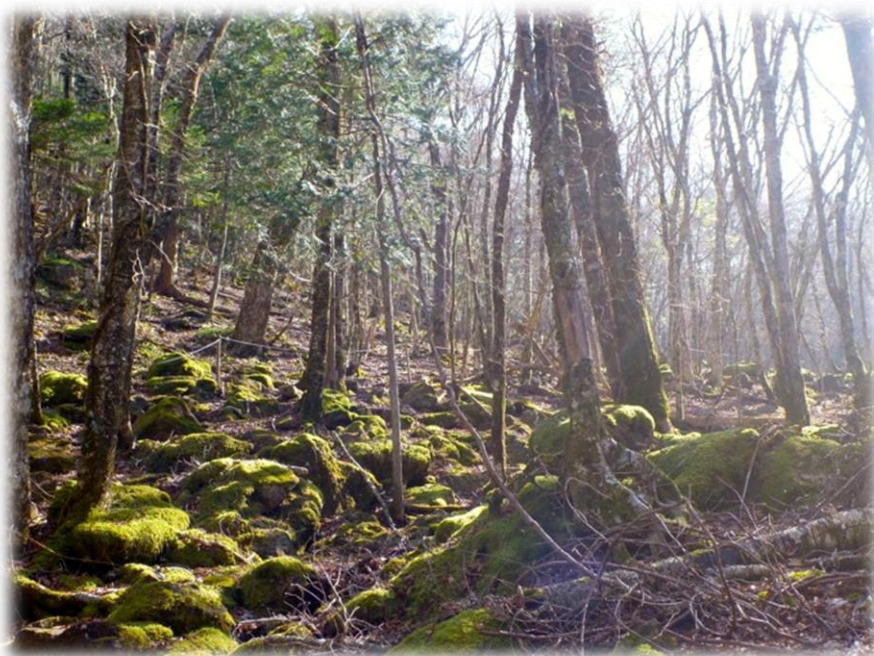
入山日は 7:30 に出発。入り口に係員の方はまだいないので歩き始める。

この日の入山人数は 5 人だということだった。（この日は今シーズンの入山最終日）



入山前に種子落としマットを使う

前回入山したのは数年前の夏で「鬱蒼とした森」という記憶があったのだが、今回は落葉の季節なので光も入り明るい森であった。季節により全く違う顔を見せてくれる。



苔の森





渡渉も何回かある



吊り橋も

登山道には最低限の標識のみである。踏み跡をたどれば迷う箇所はない。落ち葉の季節は踏み跡が分かりにくいのでロープを沢山張ってあると事前レクチャーで言われたが、確かに前回に比べてロープが多かった。こういうのがないのがこのいい所なので残念な気持ちではある・・・が、道迷いによる登山道以外への立ち入りを規制するためには必要なのだろう。



変わった形のみずナラの巨木

CTは5時間程度だがゆっくり歩いても4時間だった。

出入り口に戻るまで結局誰にも会わなかった。ラッキー！

他の入山者も見回りの係員もみんな同じ方向から周遊していたらしくすれ違う事がなかったようだ。

出入り口に常駐している係員さんに許可証を見せ、下山したことを記載され、終了である。

ここは冬期閉鎖なので次は春の花の季節に行きたい場所である。